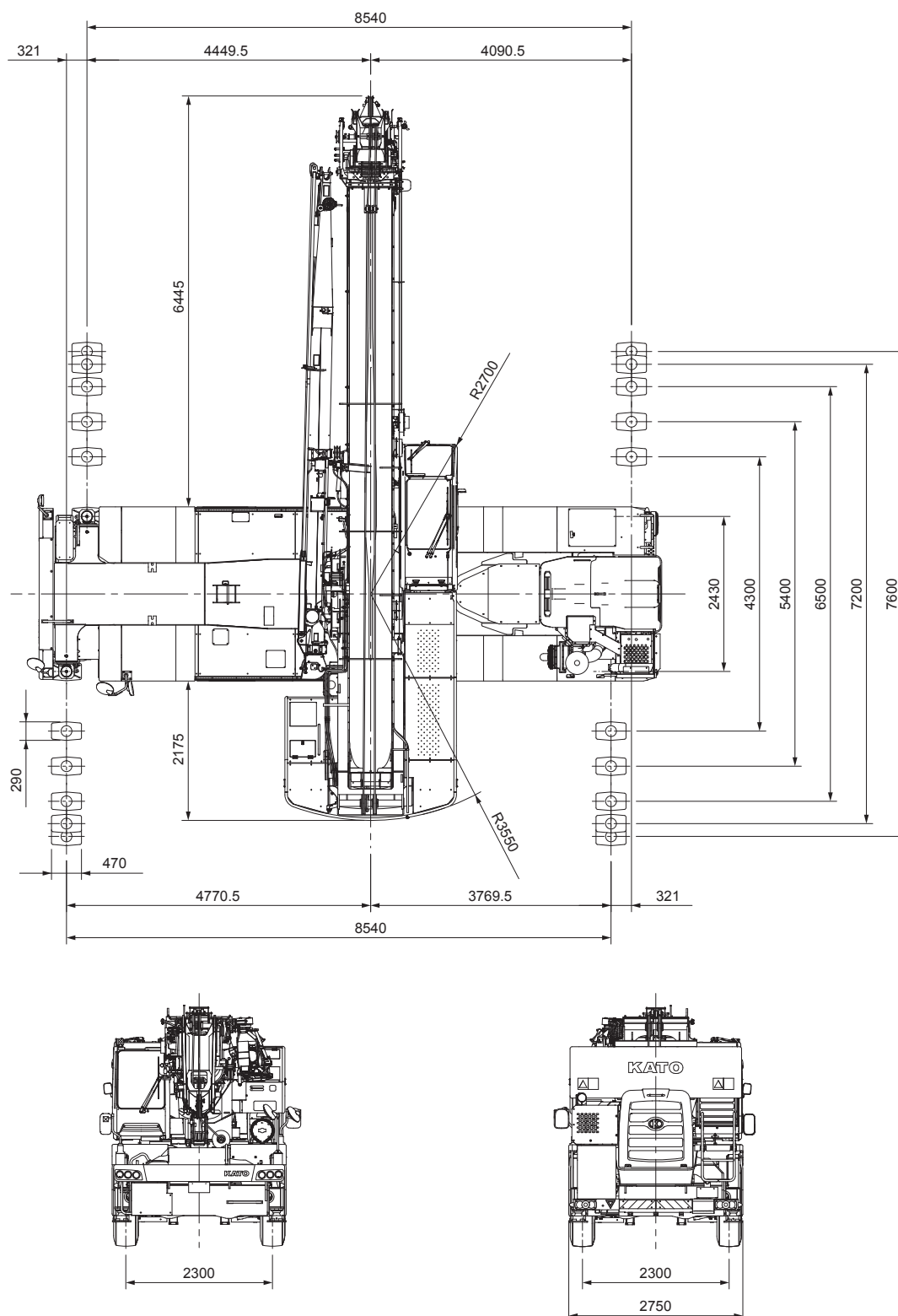


KATO SL-500Rf

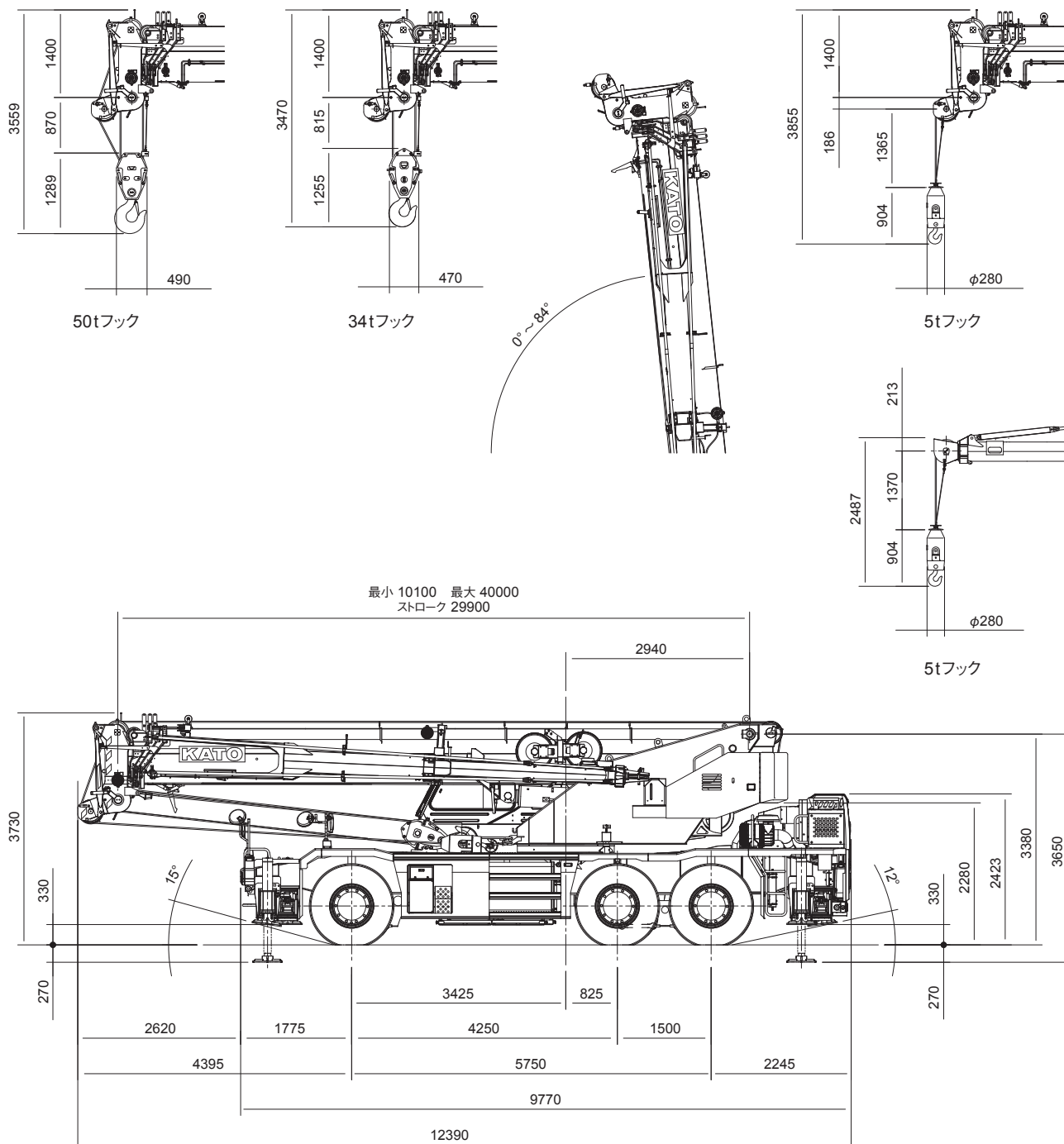
■ 寸法図



縮尺 1/100 (単位: mm)

KATO SL-500Rf

■ 寸法図



ランプブレイクオーバーアングル: 20°
 サスペンションロック時全高より: - 60mm
 (サスペンションシリンダー最縮小)

縮尺 1/100 (単位: mm)

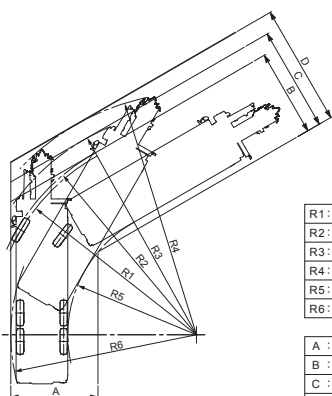
SL-500Rf

KATO SL-500Rf

■最小通路軌跡図

● 60°

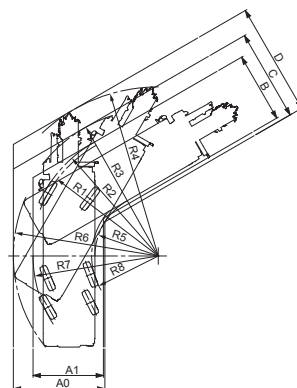
2輪ステアリングで右折する場合



R1: 最小回転半径	10.80m
R2: 最外輪端回転半径	11.00m
R3: 車体回転半径	11.90m
R4: ブーム先端回転半径	12.80m
R5: 車体内側回転半径	6.80m
R6: 車体後端回転半径	9.81m

A: 入口通路幅	4.61m
B: 車輪出口通路幅	4.61m
C: 車体出口通路幅	5.51m
D: ブーム先端出口通路幅	6.41m

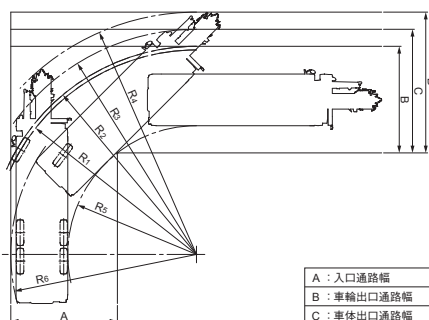
6輪ステアリングで右折する場合



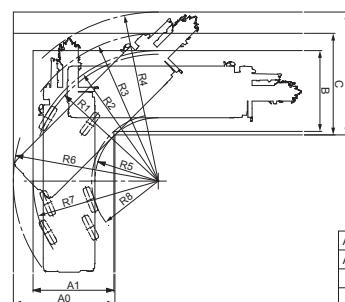
R1: 最小回転半径	6.70m
R2: 最外輪端回転半径	6.90m
R3: 車体回転半径	7.81m
R4: ブーム先端回転半径	8.93m
R5: 車体内側回転半径	3.34m
R6: 車体後端回転半径	7.66m
R7: 最外輪端回転半径	6.62m
R8: 最内輪回転半径	3.51m

A0: 車体入口通路幅	4.84m
A1: 車輪入口通路幅	3.72m
B: 車輪出口通路幅	3.72m
C: 車体出口通路幅	4.84m
D: ブーム先端出口通路幅	5.96m

● 90°

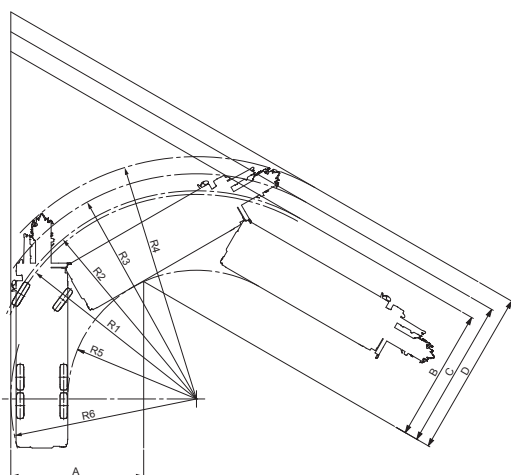


A: 入口通路幅	5.63m
B: 車輪出口通路幅	5.63m
C: 車体出口通路幅	6.53m
D: ブーム先端出口通路幅	7.44m

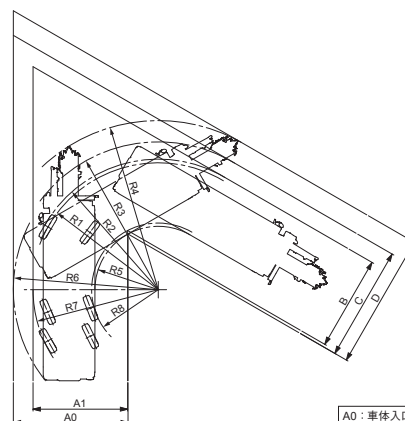


A0: 車体入口通路幅	5.37m
A1: 車輪入口通路幅	4.27m
B: 車輪出口通路幅	4.27m
C: 車体出口通路幅	5.37m
D: ブーム先端出口通路幅	6.49m

● 120°



A: 入口通路幅	7.02m
B: 車輪出口通路幅	7.02m
C: 車体出口通路幅	7.92m
D: ブーム先端出口通路幅	8.83m



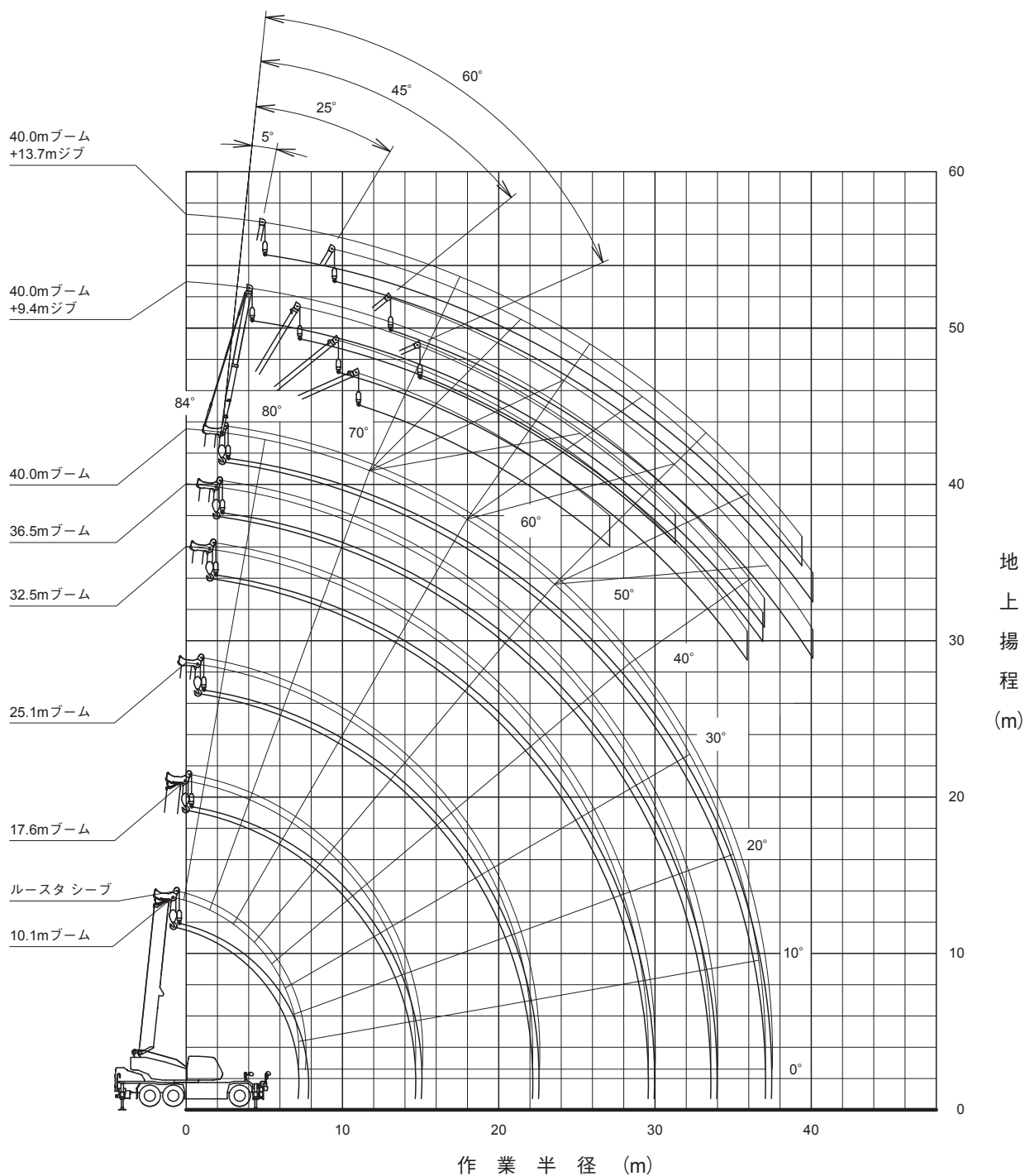
A0: 車体入口通路幅	6.06m
A1: 車輪入口通路幅	5.00m
B: 車輪出口通路幅	5.00m
C: 車体出口通路幅	6.06m
D: ブーム先端出口通路幅	7.19m

(注) 上記の数値は計算値です。

縮尺 1/400

KATO SL-500Rf

■作業範囲図



(注) 1. 本図はブーム、およびジブのたわみを含んでいません。
2. 本図はアウトリガ最大張出(前方)のものです。

縮尺 1/400

SL-500Rf

KATO SL-500Rf

■定格総荷重表

●40.0mブーム+9.4mSLジブ

アウトリガ最大(7.6m) 張出(側方、後方)								
ブーム 角度 (°)	オフセット5°		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)
84	5.6	3.80	9.0	3.30	10.7	2.10	11.3	1.50
80	9.9	3.80	12.6	3.05	14.0	2.05	14.5	1.50
77	12.8	3.80	15.2	2.85	16.5	1.95	16.8	1.45
75	14.8	3.80	17.0	2.70	18.1	1.90	18.3	1.45
72	17.4	3.40	19.4	2.55	20.3	1.90	20.5	1.45
70	19.0	3.05	20.9	2.40	21.8	1.85	21.9	1.40
67	21.3	2.60	23.1	2.15	24.0	1.80	23.9	1.40
65	22.8	2.35	24.6	1.95	25.4	1.80	25.2	1.40
62	25.0	2.05	26.6	1.75	27.3	1.65	27.1	1.40
60	26.4	1.65	27.9	1.55	28.5	1.50		
57	28.2	1.20	29.7	1.15	30.2	1.15		
55	29.4	0.95	30.9	0.90	31.3	0.90		
52	31.2	0.65	32.6	0.60	32.8	0.60		
50	32.4	0.45						
危険角度	49°		51°		51°		61°	
標準フック	5tフック							
フック質量	120kg							
巻掛本数	1							

アウトリガ中間(7.2m) 張出(側方)								
ブーム 角度 (°)	オフセット5°		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)
84	5.6	3.80	9.0	3.30	10.7	2.10	11.3	1.50
80	9.9	3.80	12.6	3.05	14.0	2.05	14.5	1.50
77	12.8	3.80	15.2	2.85	16.5	1.95	16.8	1.45
75	14.8	3.80	17.0	2.70	18.1	1.90	18.3	1.45
72	17.4	3.40	19.4	2.55	20.3	1.90	20.5	1.45
70	19.0	3.05	20.9	2.40	21.8	1.85	21.9	1.40
67	21.3	2.60	23.1	2.15	24.0	1.80	23.9	1.40
65	22.5	2.35	24.6	1.95	25.4	1.80	25.2	1.40
62	24.7	1.70	26.5	1.50	27.1	1.50	27.1	1.40
60	26.1	1.35	27.7	1.20	28.3	1.20		
57	27.9	0.95	29.5	0.85	30.1	0.80		
55	29.2	0.70	30.6	0.60	31.2	0.55		
危険角度	54°		54°		54°		61°	
標準フック	5tフック							
フック質量	120kg							
巻掛本数	1							

アウトリガ中間(6.5m) 張出(側方)								
ブーム 角度 (°)	オフセット5°		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)
84	5.6	3.80	9.0	3.30	10.7	2.10	11.3	1.50
80	9.9	3.80	12.6	3.05	14.0	2.05	14.5	1.50
77	12.8	3.80	15.2	2.85	16.5	1.95	16.8	1.45
75	14.8	3.80	17.0	2.70	18.1	1.90	18.3	1.45
72	17.4	3.40	19.4	2.55	20.3	1.90	20.5	1.45
70	19.0	3.05	20.9	2.40	21.8	1.85	21.9	1.40
67	20.8	2.30	22.9	2.00	24.0	1.80	23.9	1.40
65	22.3	1.80	24.3	1.60	25.2	1.50	25.2	1.40
62	24.4	1.25	26.2	1.10	26.9	1.05	26.9	1.05
60	25.7	0.95	27.5	0.80	28.3	0.75		
57	27.7	0.50	29.3	0.45				
危険角度	56°		56°		59°		61°	
標準フック	5tフック							
フック質量	120kg							
巻掛本数	1							

アウトリガ中間(5.4m) 張出(側方)								
ブーム 角度 (°)	オフセット5°		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)
84	5.6	3.80	9.0	3.30	10.7	2.10	11.3	1.50
80	9.9	3.80	12.6	3.05	14.0	2.05	14.5	1.50
77	12.8	3.80	15.2	2.85	16.5	1.95	16.8	1.45
75	14.4	3.80	17.0	2.70	18.1	1.90	18.3	1.45
72	16.7	2.75	19.0	2.40	20.3	1.90	20.5	1.45
70	18.3	2.15	20.5	1.85	21.7	1.70	21.9	1.40
67	20.5	1.45	22.5	1.25	23.7	1.10	23.7	1.10
65	21.9	1.00	23.8	0.90	24.9	0.80	24.9	0.80
62	23.9	0.55	25.8	0.45				
危険角度	61°		61°		64°		64°	
標準フック	5tフック							
フック質量	120kg							
巻掛本数	1							

アウトリガ中間(4.3m) 張出(側方)								
ブーム 角度 (°)	オフセット5°		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)
84	5.6	3.80	9.0	3.30	10.7	2.10	11.3	1.50
80	9.9	3.80	12.6	3.05	14.0	2.05	14.5	1.50
77	12.5	3.35	14.8	2.80	16.5	1.95	16.8	1.45
75	14.1	2.55	16.4	2.15	17.9	1.90	18.3	1.45
72	16.3	1.65	18.6	1.40	20.1	1.25	20.3	1.25
70	17.8	1.20	20.0	1.00	21.4	0.90	21.7	0.90
67	20.0	0.60	22.1	0.45	23.1	0.45	23.4	0.45
危険角度	66°		66°		66°		66°	
標準フック	5tフック							
フック質量	120kg							
巻掛本数	1							

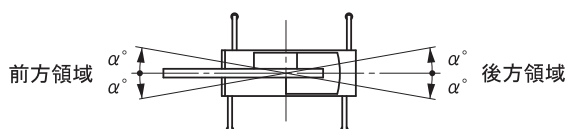
アウトリガ張出(前方)								
ブーム 角度 (°)	オフセット5°		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)	作業半径 (m)	荷重 (t)
84	5.6	3.80	9.0	3.30	10.7	2.10	11.3	1.50
80	9.9	3.80	12.6	3.05	14.0	2.05	14.5	1.50
77	12.8	3.80	15.2	2.85	16.5	1.95	16.8	1.45
75	14.8	3.80	17.0	2.70	18.1	1.90	18.3	1.45
72	17.4	3.40	19.4	2.55	20.3	1.90	20.5	1.45
70	19.0	3.05	20.9	2.40	21.8	1.85	21.9	1.40
67	21.3	2.60	23.1	2.15	24.0	1.80	23.9	1.40
65	22.8	2.35	24.6	1.95	25.4	1.80	25.2	1.40
62	25.0	2.05	26.6	1.75	27.3	1.65	27.1	1.40
60	26.4	1.85	27.9	1.65	28.5	1.50		
57	28.5	1.65	29.8	1.45	30.2	1.40		
55	29.8	1.50	31.0	1.35	31.4	1.30		
52	31.7	1.30	32.9	1.20	33.1	1.20		
50	32.8	1.10	33.9	1.05	34.1	1.05		
48	33.9	0.90	35.0	0.85	35.0	0.85		
46	35.0	0.70	35.9	0.70	35.9	0.65		
44	36.0	0.55	36.9	0.55				
42	37.0	0.45						
危険角度	41°		43°		45°		61°	
標準フック	5tフック							
フック質量	120kg							
巻掛本数	1本							

KATO SL-500Rf

■ 定格総荷重表注意事項

● アウトリガ使用時

1. 定格総荷重表は水平堅土上において機体を水平に設置した状態での保証できる最大荷重を示しており、ブーム作業時は主フックとつり具、ジブ作業時は補フックとつり具の質量を含んだ値です。
【50tフック（質量500kg）、34tフック（質量330kg）、5tフック（質量120kg）】
□部分は機械の強度によって、他は機体の安定度によって定められています。
2. 作業半径はブーム、ジブのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
3. ジブの作業半径は25.1mまたは40.0mブームにジブを装着して作業を行った場合の値です。25.1mを超え40.0m未満のブーム長さでのジブ作業は、作業半径ではなく40.0mブームの角度を基準としてください。また、25.1m未満のブーム長さでのジブ作業は、作業半径ではなく25.1mブームの角度を基準としてください。
4. アウトリガ最縮小張出では、ジブ作業を行わないでください。
5. アウトリガ張出状態によって側方領域でのつり上性能は異なります。従って各々の張出状態における定格総荷重表で作業を行ってください。また、前方領域でのつり上性能は前方性能の定格総荷重表で、後方領域でのつり上性能はアウトリガ最大張出の定格総荷重表でそれぞれ作業を行ってください。

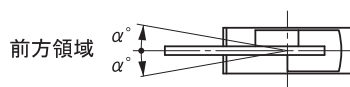


アウトリガ 張出状態	最大張出 (7.6m)	中間張出 (7.2m)	中間張出 (6.5 ~ 5.4m)	中間張出 (4.3m)	最縮小張出
領域 α°	前方のみ45	30	25	15	3

6. ルースタシブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取付けられているフックその他のつり具の質量を差し引いた値とし、かつ限度を5000kgとします。
【ルースタシブ使用フック：5tフック（質量120kg）巻掛本数1】
7. ブーム長さ、ブーム角度、作業半径、ジブ長さ、およびジブ角度が規定の値をこえる場合にはその規定の値と、次の規定の値の定格総荷重のうち小さい方の定格総荷重を目安として作業を行ってください。
8. ジブを装着したままでブーム作業を行う場合の定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりフックその他のつり具等の質量の他に、3500kgを差し引いた値とし、かつ上限を18tとします。なおジブを装着したままでのルースタ作業、およびアウトリガ最縮小張出におけるジブを装着したままでのブーム作業は行わないでください。
【ジブ装着時使用主フック：34tフック（質量330kg）】
9. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
10. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準巻掛本数以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり45.1kN（4.6tf）を限度としてください。
11. フック巻掛本数12本で作業を行う場合はルースタシブを使用してください。
12. 高速巻下作業は、フックのみを降下するときに使用してください。また急激なレバー操作はさけてください。
13. クレーン作業は風速10m/sまで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きい荷重を取扱う場合は特別な注意を払ってください。
14. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、および正しい使い方を行わなかった場合は転倒または破損します。この場合本機の保証はいたしません。

● アウトリガ不使用時

1. 定格総荷重表は、水平堅土上においてタイヤの空気圧が規定圧で、かつサスペンションシリンダを「レベルロック」した場合に本機の保証できる最大荷重を示しており、主フックとつり具の質量を含んだ値です。
□部分は機械の強度によって、他は機体の安定度によって定められています。
【タイヤ規定空気圧：900kPa（9.00kgf/cm²）】
2. 作業半径はブームのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
3. 前方性能と全周性能とは定格総荷重が異なります。前方領域から側方領域へ旋回する場合には、過荷重になるおそれがありますので充分注意してください。



クレーン作業	定置つり	走行つり
領域 α°	1	1

4. ルースタシブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取付けられているフックその他のつり具の質量を差し引いた値とし、かつ限度を5000kgとします。
【ルースタシブ使用フック：5tフック（質量120kg）巻掛本数1】
5. ブーム長さ25.1mをこえるブーム作業、およびジブ作業は行わないでください。
6. 定置つり作業はパーキングブレーキを効かせ、同時にブレーキロックを掛けた状態で行ってください。
7. 走行つりはシフトレバーを1速にして「低速スイッチ」を押して行ってください。
8. 走行つりは荷が振れないように地面近くに保持し、2km/h未満にて行ってください。特にコーナリング、急発進、急制動に注意してください。
9. 走行つり中にはクレーン作業は行わないでください。また旋回ブレーキを必ず掛けてください。
10. ブーム長さ、ブーム角度、作業半径、ジブ長さ、およびジブ角度が規定の値をこえる場合にはその規定の値と、次の規定の値の定格総荷重のうち小さい方の定格総荷重を目安として作業を行ってください。
11. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
12. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準巻掛本数以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり45.1kN（4.6tf）を限度としてください。
13. 高速巻下作業は、フックのみを降下するときに使用してください。また急激なレバー操作はさけてください。
14. クレーン作業は風速10m/sまで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きい荷重を取扱う場合は特別な注意を払ってください。
15. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、および正しい使い方を行わなかった場合は転倒または破損します。この場合本機の保証はいたしません。